

北海道新十津川農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和 7 年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	1 プロジェクト学習や各科目ごとの研究活動により、個々の専門的な力を身につけ、主体的に学ぶ力を養います。 2 地域との販売会や交流活動で一人一役の役割を担うことで、自己肯定感を高め、社会性を養います。	A A	1 ・実績発表大会 ・ポスターセッション 2 ・各種販売会 ・花壇植栽活動
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	1 GAPやHACCPなどの学習をおこない、世界標準を意識しながら行動できる態度を養います。 2 SDGsの学習を実践し、持続可能な社会に貢献できる人材を養います。	A B	1 ・GAP講習会 ・食品製造実習 ・食品衛生責任者養成講習 2 ・プロジェクト学習 ・各科目ごとのSDGsの取り組み
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	1 地域農業を理解するために、地域の農家の方々や農業団体との交流をおこないます。 2 小学校・中学校との連携による食育学習を推進し、農業の理解者を広めます。	A A	1 ・JA青年部との意見交流会 ・農家視察研修 2 ・田植え・稲刈り体験交流 ・農産物収穫体験等
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	1 各科目ごとの研究活動を推進し、地域に貢献できる態度を養います。 2 校内での生産・加工・流通の体系を確立し、地域農産物の6次産業化を推進します。	A B	1 ・各科目ごとの研究活動及び地域教育力の活用 2 ・各科目間連携による、校内生産物での商品開発
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	1 みどりの食料システム戦略を実践し、化学肥料や化学農薬の低減を目指します。 2 地域緑化活動や環境学習をととし、地球環境を守る態度を育てます。	B B	1 ・土壌検査に基づいた、施肥設計 ・緑肥作物を活用した、無化学肥料栽培の実証実験 2 ・全校植栽ボランティア活動
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	1 地域資源を活用した製品開発をおこないます。 2 地域の関係機関（商工会・福祉施設・農家等）と積極的に交流し、農福連携に取り組めます。	A A	1 ・酒米粉を活用した地域特産品の開発等 2 ・介護初任者研修の受講 ・介護施設での交流活動 ・農業関係機関視察研修
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	1 企業・町との連携によるスマート農業学習を積極的に取り組みます。 2 ICTを用いた学習環境を整備するとともに積極的に活用します。	A B	1 ・新十津川町及びクボタとの連携による食味・収量分析やドローンによる生育分析 2 ・ICTを活用した農業生産
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	地震、火災、水害等の防災訓練に取り組むとともに、農業の持つ多面的機能を活用した地域防災に取り組みます。	A	1 ・農業土木視察研修等による農業の多面的機能の学習 ・防災グッズの展示等